

逗子の魅力をPR

広報大使第1号が誕生

逗子にゆかりのある著名な3組が就任しました。問企画課



石原良純さん

逗子市出身。松竹富士映画「凶弾」で俳優デビュー。舞台、映画、テレビドラマなどに多数出演。気象予報士としても活躍中。



三浦豪太さん

写真左。逗子市在住。プロスキーヤーとして活躍する一方、父・雄一郎さんとエベレスト山に登頂し、初の親子同時登頂記録を達成した。

山田姉妹の華さん、麗さん

写真中央が姉の華さん、右が妹の麗さん。逗子市出身。二卵性の双子ソプラノデュオ。昨年メジャーデビューし、今年5月に文化プラザホールでコンサートを開催した。

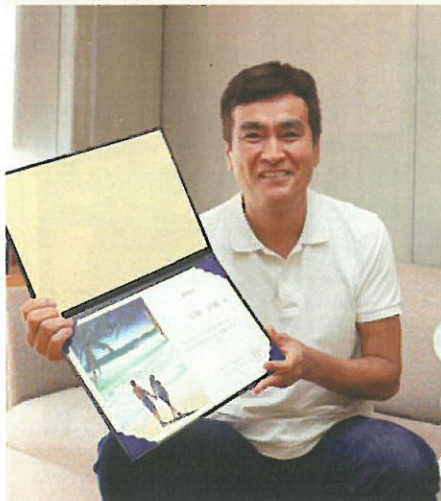
石原良純さんに
聞きました

日本で一番魅力のある 海辺のまちに

僕が生まれ育った逗子の家は、残念ながら、3年前になくなりました。心の安らぐ場所だし、時間があれば訪れていた一番大事な場所だったのですが、うちの父親も年をとってきたし、仕方のないことでしょう。

それでも逗子にはお墓参りに行くし、また、一番身近な海というやはり逗子。

僕はよく言うのです。海は訪れる場所ではなく、僕にとっては海は帰る場所であり、帰る場所は逗子のまちなのです。



逗子のいいところは何と言っても、海岸であり、海岸にいたくとも、そのまちを吹き抜ける潮風だと思います。逗子に住んでいる人なら分かると思いますが、電柱の横っちょに砂がたまっているあの景色がまさしく湘南の景色だと思います。

このまちに関して言えば、日本の人口が減っていく中で、やせ衰えていくとは思わない。都心部への回帰と同時に住みいい場所、魅力のある場所を人は選択していくので、湘南という場所は、みんなの憧れの地であって、逗子はその一角をなしていると思います。しかし、暮らしている人にとっては、交通渋滞など、問題がないわけではないので、10年後、20年後さらにその先で、日本で一番魅力のある海辺のまちと言われるようなまちに姿を変えていってほしいと思います。

残念ながら今年の夏は1回しか行けませんでした。お墓参りして、その後逗子の海岸に行って、年に1回は海に入らないと気が収まらないので、本当に1分間だけ海に入って帰ってきました。その時に黒門駐車場でシャワーを浴びながら、ああもう少し居たいな、帰りたくないなと思いつつ、今年の逗子の夏は終わってしまいました。でも逗子のまちの魅力って夏だけではないのです。秋の海、冬の手もぜひ見に来るつもりです。

僕は海辺のまち、逗子の魅力をこれからも伝えていきたいと思っています。

広報大使座談会

逗子は安心できる場所

三浦豪太さん、山田姉妹の華さん、麗さんを招き
逗子への思いと広報大使としての抱負を語っていただきました(10月12日開催)。

—自己紹介をお願いします。

三浦 僕は鎌倉の出身なのですが、2005年に引っ越して来ました。最初は海で遊んでいたんですが、一番の決め手は山でした。三浦アルプスという鎌倉・逗子・葉山から三浦半島まで続く山道があるんですが、深い山や沢があったり、そこにサワガニやウナギがいたり。東京近辺にはないですね。

華 私たちは生まれも育ちも逗子で、逗子は本当に好きなところばかりです。「逗子といえば海」といろいろな方に言われますが、私もちょっと悩みがあったら夕暮れの逗子海岸に行って、一人で体育座りをして気持ちを切り替えます。逗子は元気をもらえるまちです。

麗 今は2人で都内に家を借りていますが、実家に帰って来ることが多いです。窓を開けると気持ちいい風が吹いていて、虫の声など季節によって異なる音が聞こえます。一気に疲れがとれて、明日も頑張ろうという気持ちになれます。

—逗子ではどんな風に過ごされているんですか。

麗 8月に鷹取山に登ったんですが、途中迷って、逗子中の裏に出ました。

三浦 あそこの景色は、山が深くて、逗子じゃないみたいですよ。裏参道(逗子中の裏)には細い川がチョロチョロ流れていて、あの雰囲気はなかなかないですよ。よく登るんですか？

麗 久しぶりだったんです。小さい頃はよく登ったんですよ。実家に写真も飾ってあります。久しぶりに登ったら、マイナスイオンがいっぱいで、凜としていて……。近くにこんなに良いところがあるんだあって感動しました。

三浦 パパ会、幼稚園の活動、小学校の保護者会、放課後の海の活動……。逗子はコミュニティがたくさんあって、皆さんアクティブなので、体一つでは足りないくらいです。

—逗子の好きなおところはどこですか？

麗 場所も人も温かいところです。逗子の方は「みんなが家族」という意識がどこかにあるじゃないですか。駅で知らない方が「この前テレビで見たよ」と声をかけてくださったり、電車で「頑張ってるね」と応援してくださったり。どこにいても家にいるような感じです。

三浦 みんな知り合いなので、逗子で悪いことはできません

美味しいお店がたくさんあるのでおすすめのご飯屋さんを聞かれると迷いますね **華さん**

休みの日は逗子の自然を満喫して帰ります。結婚したら絶対逗子に住みたいです **麗さん**

生活のすぐそばに海と山がある。そこが一番の魅力ですね **市長**



応援しよう

広報大使活躍中

三浦豪太さん

来年1月2日から父・三浦雄一郎と南米の最高峰・アコンカグアに登頂します。今年いっぱいはそのためのトレーニングです。

(笑) 駅に降りて家に着くまでに、3人は飲み仲間・遊び仲間に会います。

麗 ちょっと道を聞かれたりして一度お話したら、もう友達です。皆さん心がオープンなのですごく安心します。

三浦 海辺を歩いている、ほぼ同じ人が歩いたり釣りをしたりしているので、友達になっちゃいました。

——広報大使としての意気込みをお聞かせください。

三浦 逗子があまりにも住み心地がいいので、いろんな人に「逗子は最高だ」と言っています。遊びに来ると「住みたい」と言ってくれる方も結構いまして、実際に住んだ方もいます。これからはプライベートでも仕事でももっと発信して、一人でも多くの方に住んでもらえるよう頑張ります。

華 各地でコンサートをしているんですが、「逗子市出身」と言うと「どこだろう?」という反応をされます。「鎌倉の隣です」と言うと「ああ」という顔をされて・・・。「逗子はあそこだ」とすぐ分かってもらえるようPRしていきます。また、私たちを見ることで「ああ、良いところで育ったんだな、逗子はいいところなんだなあ」と思ってもらえるよう、自分

山田姉妹

今月はコンサートが2回あります。チケットなどの詳細はこちらです。

11月2日(金) 八王子市芸術劇場文化会館
いちようホール 14時開演

11月24日(土) 平塚中央公民館大ホール 15時開演



自身を磨きながら良い歌を届けていきます。

麗 本当に逗子が好きなので、広報大使のお話をいただき光栄です。

私たちの20歳の誕生日に、たまたま逗子のデイサービスで、ボランティアで歌を歌わせていただきました。そのときにおじいさん、おばあさんたちがサプライズでハッピーバースデーの歌を合唱してくれ、「生きててよかった。また2人の歌を歌うために元気に頑張ろう」と言ってくれました。今まで歌ってきた中で一番幸せな瞬間でした。

コンサートで地方に行くことが多いのですが、やっぱり逗子の子どもたちやお年寄りの方にも歌をお届けしたいです。これからもよろしくお願いします。



山田姉妹公式Instagram「@yamdashimai」より

逗子の山は世界に誇っても
いいじゃないかな 三浦さん



逗子を頑張ってPRします



座談会の模様は
ホームページにも
掲載しています



